

肉眼で見へる旨及びその位置豫報が見取り星圖及び觀測上からの説明をつけて、21日半紙版の印刷物で京星速報23號として發行された。

07月幹事會 第2年度最終の定時幹事會が、17日(金)夜幹事岩崎房治氏宅で9名の出席者により開かれた。豫め配布されてみた8頁の參考資料印刷物に従つて議事が進められ、9月よりの第3年度に對する方針を決定し、組織、幹事、會務執行規定、事業豫定の改正制定決定がみられ、第2年度締切及び第3年度に對する事務的打合せがなされた。

山 口 だ よ り

拜啓 長らく御無沙汰をして居ります。この度の日食觀測には山本先生を始め諸先生が各地で非常な努力を拂はれ、それが全部大成功でありました由、誠に嬉しく御祝ひ申します。色々の興味ある報告を待つて居る次第であります。私も地方委員の一人として色々考へて居りますが、何しる微力にして思ふやうな仕事も出来ません。この度の部分食觀測には好天氣に恵まれて愉快に觀測を致しました。氣象關係を少し調査致しましたので御報告します。(報告文省く)

山口縣立柳井中學校 滿本達雄

花山ブレテン、順調に發行さる

昨年来花山のブレテンは印刷所及び印刷費用の都合に依り、甚だしくその發行がおくれて居たが、日食もすみ、最近すこぶる餘裕を生じたので、目下東京及び京都兩地に於て急ぎ印刷中。來る9月4日附第320號の印刷完了(9月10頃)とともに發送される豫定。尙321號以後は毎月1—2回づつ正規に發行される筈。

(因みに、ブレテン購讀は年額1.80圓、申込は協會事務所へ)

編輯後記

★日食が大成功だつた御蔭で、日食に關する原稿が机上に山積し、編輯子を悩殺する!! 正に天文界の黄金時代が來たやうだ。日食とは云はぬ。其他の寄稿が又續々送られる。蓋し編集部は近頃ない裕福だ。

★1年の天文季節「秋」が來た。そこで早速、久方ぶりでの「流星」に關する觀測法の記事を幹事・宇野良雄氏より寄稿され、本號を飾ることにした。同氏に謝意を表す。誌上多彩!!

★日食記事はまだまだ追號添載の豫定。地方に於ける部分食觀測の報告も興味多い記録である。兎に角、日本全國の日食だつたのだから——

★220米山頂の花山には早くも初秋のおとづれ、いと物靜かに——(葵星)